

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公開番号】特開2011-78699(P2011-78699A)

【公開日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-016

【出願番号】特願2009-235470(P2009-235470)

【国際特許分類】

A 4 7 J 43/28 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 43/28

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月5日(2011.9.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周壁部と底部を有する第 1 容器と、水切り穴と周壁部と底部を有し、かつ前記第 1 容器の内側に配置可能な第 2 容器とを備え、前記第 1 容器と前記第 2 容器は前記第 1 容器内に前記第 2 容器を挿入した第 1 状態と、該第 1 状態に対して周方向の相対角度をずらした状態で、かつ前記第 2 容器の底部と前記第 1 容器の底部との距離が前記第 1 状態よりも上方に離れた第 2 状態にでき、該第 2 状態において前記第 2 容器を保持できる保持部が設けられており、前記第 1 容器及び第 2 容器は周壁部の上端部が外方に張出すフランジ部を備え、該フランジ部に、前記第 1 容器と前記第 2 容器のフランジ部のフランジ面同士を当接させたときに位置決めするための位置決め部が設けられていることを特徴とする水切り具。

【請求項 2】

前記第 2 容器の水切り穴は、前記第 2 容器の前記底部にのみ設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の水切り具。

【請求項 3】

前記第 1 容器と前記第 2 容器は、水切り穴の有無を除き同形であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の水切り具。

【請求項 4】

前記第 1 容器及び前記第 2 容器は、角丸の四角形であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の水切り具。

【請求項 5】

前記第 2 容器は前記第 2 状態において、第 1 容器に対して周方向に 30°～60°の範囲でずらした状態で保持可能になっていることを特徴とする請求項 4 記載の水切り具。